

平成22年度 北海道滝川西高等学校 学校評価

※ 数値評価は4段階、4(十分である)、3(おおむね十分である)、2(不十分である)、1(改善を要する)。

分野	番号	評価項目	達成状況		取組の適切さ		自己評価傾向分析	改善方策
			22年度	21年度	22年度	21年度		
学校経営	1	本年度の重点目標、経営方針が本校の指導に生かされているか。	3.14	3.23	3.16	3.23	学校経営については、 ①重点目標や経営方針を生かしながら、教職員が協力し合って教育活動を行っているという自己評価となっている。 ②施設・設備の充実にむけた具体的な方向性を求めている。 ③年間行事の見直しは今後も課題である。 ④SELHi事業の終了後も継続した指導の充実に求めている。	②施設・設備の充実にについては、滝川市へ継続的に要求し続けていく。 ③行事については、関係者の意見もくみ入れ、本校における教育活動全体を考えて検討する。
	2	教職員がお互いに協力して日常の教育活動を行っているか。	3.30	3.38	3.32	3.33		
	3	本校の施設・設備や校地の整備の充実に努めているか。	2.18	2.27	2.36	2.64		
	4	緊急対応マニュアルの整備がされているか。	3.24	3.28	3.24	3.26		
	5	校務分掌の配置と人員構成は適切か。	2.96	2.96	2.94	2.98		
	6	2学期制のメリットをいかした年間行事を計画し、行事の精選に努めているか。	2.88	2.73	2.88	2.62		
	7	SELHi事業の充実に努めているか。	3.37	3.71	3.37	3.66		
		学校経営に関する学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.40)					
		①よく取り組んでいると考える。 ②ストーブや温水など改善を求めたい。 ③長期・短期等計画的に改善・整備する必要があると感じる。 ④場合によっては保護者も巻き込んで市に改善を求めすることも必要と考える。 ⑤多くの社会資源も活用し、活力ある学校経営の推進を求めたい。 ⑥生徒による評価というものも検討してはどうか。						
学習指導	8	多様な生徒や地域の実態に即した教育課程を編成しているか。	3.20	3.17	3.14	3.23	学習指導については、 ①生徒や地域の実態に即した新たな教育課程の編成に取り組み、個に応じた指導の充実にさらに努めることが必要と考えている。また、担当分掌による評価の見直しも検討している。 ②生徒が自ら学ぶ意欲を育む指導の充実と使えるシラバスの作成の必要性を意識している。	新教育課程を編成し、家庭学習の習慣化に向けて、教科・進路指導部・教務部・学年が連携し、生徒に働きかける具体的方策を検討する。
	9	家庭学習の定着を図り、自ら学ぶ意欲を高くしているか。	2.68	2.60	2.84	2.73		
	10	生徒の学力の実態把握に努め、基礎・基本の定着に努めているか。	3.16	3.08	3.20	3.13		
	11	シラバスの内容を充実させ、継続的に活用するよう努めているか。	2.86	2.98	2.78	2.92		
	12	授業方法の改善の推進と充実に努めているか。	3.16	3.21	3.20	3.21		
	13	個に応じた指導の充実に努めているか。	3.32	3.29	3.30	3.29		
	14	総合的な学習の時間を効果的に実施しているか。	3.32	3.19	3.24	3.19		
	15	定期考査以外にも、多面的な評価をしているか。	3.32	3.41	3.28	3.44		
16	成績不振者に対する指導は適切か。	3.26	3.40	3.24	3.42			
	学習指導に関する学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.40)				改善方策の適切さ(数値評価3.43)		
		①よく取り組んでおり、十分評価できる。 ②生徒のやる気を引き出す指導の充実に努めたい。 ③生徒の学力向上にむけ、よく努力していると考えられる。 ④理科の選択等現状でよいのかどうか疑問を感じる。 ⑤資格取得等の大切さを更に啓蒙し、チャレンジ精神あふれる生徒の育成に努めて欲しい。 ⑥家庭学習については、家庭の姿勢も含め難しい問題もあり、本人の意欲の度合い等評価も難しいと思われる。 ⑦支部懇談会などを活用し、状況を説明しながら家庭との連携を図って欲しい。						
生徒指導	17	基本的な生活習慣が身につく指導の充実に努めているか。	3.25	3.21	3.27	3.31	生徒指導、健康・安全指導については、 ①全体的に適切な取組の結果、満足できる達成状況になっている。 ②基本的な生活習慣や身だしなみについて、共通認識に立った指導の必要性が課題である。 ③環境にかかる指導についてより充実した内容となるよう改善することが課題である。	①学校行事やHR活動、総合的な学習の時間などを活かし、自主的・自律的な行動ができるようになるよう取り組む。 ②教員間の指導の差をなくすべく協働体制を再度構築し、適宜確認する。
	18	高校生らしい身だしなみとなるような指導の充実に努めているか。	3.27	3.19	3.27	3.17		
	19	社会に通じる礼法、言葉遣いの指導の充実に努めているか。	3.14	3.06	3.10	3.08		
	20	自ら考え、自主的・自律的に行動ができるための指導に努めているか。	2.86	2.92	2.88	2.96		
	21	生徒理解を前提とした生徒指導の充実に努めているか。	3.20	3.33	3.22	3.33		
	22	自転車・歩行者・列車通学生のマナー指導に努めているか。	3.08	3.13	3.16	3.15		
	23	生徒指導に関して、学年・学級等との連携を図る指導に努めているか。	3.20	3.35	3.22	3.33		
	24	家庭・地域との連携を深め、協働する指導体制の確立に努めているか。	3.12	3.29	3.16	3.27		
	25	交通安全・薬物等に関する講演等を企画し、意識の高揚を図っているか。	3.35	3.42	3.33	3.46		
	26	心身の不適応を示す生徒への支援の充実に努めているか。	3.39	3.50	3.41	3.50		
	27	ゴミ減量・分別・資源リサイクル化など、環境教育の充実に努めているか。	3.18	3.44	3.20	3.46		
	28	ボランティアの心を広くむ指導を行っているか。	3.00	3.15	3.00	3.19		
29	健康・安全・環境衛生の保持増進を働きかける指導の充実に努めているか。	3.22	3.38	3.22	3.40			

			自己評価の適切さ (数値評価 3.47)				改善方策の適切さ(数値評価3.47)		
	生徒指導に関する 学校関係者評価	①一部を除き服装や頭髪等指導が行き届いていると感じる。むしろスカート丈等はもう少し短くても良いのではないかと印象を受ける。 ②携帯電話はマナーを守って使用する指導も必要ではないか。 ③個性を尊重しつつも指導目標にそって今後も親身に指導いただきたい。 ④生徒の挨拶が良くできていて、気持ちが良い。 ⑤本来家庭で行うべきしつけの問題等が学校に持ち込まれているような印象を受ける。 ⑥指導が行き届き行事等では整然と活動して好感が持てる。同時に自主性も育成する教育活動もお願いしたい。							
進路指導	30	進路別ガイダンス、進路相談会、講演会の充実を図めているか。	3.52	3.60	3.46	3.53	進路指導については、年々充実が図れているという認識が高く、今年度は特に就職の早期内定を評価する意見が多い。一方、さらに充実するために1年生からの適切な指導や、行事の見直しを求める声が多い。	現在の優れた面を継続しつつ、関係分掌と協議しつつ、改善を図ってゆく。	
	31	生徒理解に必要な個人的資料や進路情報についての収集・活用に取り組んでいるか。	3.34	3.42	3.36	3.44			
	32	生徒や保護者への的確な情報提供に取り組んでいるか。	3.26	3.30	3.28	3.38			
	33	1日限や総合的な学習の時間での進路学習に関して学年との連携を密にしながらかの充実を図っているか。	3.44	3.26	3.42	3.30			
	34	資格取得の推進がなされているか。	3.50	3.60	3.52	3.58			
	35	進路資料室の有効活用がなされているか。	3.38	3.27	3.38	3.31			
	36	進路講習(一般・サテライト)・公務員講習・小論文面接指導の充実と、各教科・学年との連携がなされているか。	3.30	3.23	3.30	3.21			
	37	模擬試験を計画的に実施し、進学・就職試験対策を充実させているか。	3.32	3.29	3.30	3.27			
	38	勤労観・職業観を身につける効果的なインターンシップの実施に取り組んでいるか。	3.28	3.42	3.28	3.35			
	39	関係機関と連携した求人確保と拡大に取り組んでいるか。	3.48	3.46	3.44	3.43			
	進路指導に関する 学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.53)				改善方策の適切さ(数値評価3.43)			
		①就職・進学によく努力されている。 ②コミュニケーション能力の向上は企業の求めるところでもあり、今後も指導の充実を求めたい。 ③優れた進路指導がなされており、面倒見の良い学校として評価できる。 ④必要な情報をプリント等で家庭にもお知らせ願いたい。 ⑤1年生からの充実した指導が大切だと考える。							
研修	40	教科内研修の推進をしているか。	3.04	3.13	3.00	3.19	特に研修のさらなる充実と研修後の情報の共有を求める意識が高い。	研修レポート等の提出を求め、全体での共有を図るべく取り組む。	
	41	効果的な校内研修会の充実に取り組んでいるか。	3.04	3.08	3.04	3.11			
	42	校外での研修等について他教職員へ情報提供はされているか。	2.96	3.08	2.92	3.06			
		研修に関する 学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.27)						改善方策の適切さ(数値評価3.27)
		①形式にとらわれず、先生方の自発的な研修の充実を期待したい。 ②市内の企業人を招いた講演会等の企画も良いのではないか。							
外部との連携	43	P T A事業の充実に取り組んでいるか。	3.39	3.46	3.39	3.51	外部との連携について、P T A・同窓会・高大等の連携は充実しているが、進路に関わった中学校との連携の重要性を意識する意見が多い。	管理職・広報委員会等が中学校を訪問しているが、さらに連携を深めていく。	
	44	同窓会活動の充実に取り組んでいるか。	3.34	3.38	3.34	3.41			
	45	高大連携に取り組んでいるか。	3.35	3.40	3.31	3.45			
	46	中学校との連携を密にし、相互理解の促進を図っているか。	2.96	3.02	2.94	3.07			
		外部との連携に関する 学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.47)						改善方策の適切さ(数値評価3.47)
			①中学校との連携をより密にして欲しい。 ②高校入試推薦制度の更なる充実とより高い意識を持った生徒確保に尽力願いたい。 ③西町地区との関わりを深める活動がもっとあっても良いのではないか。						
情報提供	47	中学生への学校説明会・一日入学等の広報を効果的に実施しているか。	3.40	3.32	3.38	3.42	広報活動は充実してきており、1日体験入学の改善についてもよしとする意見が多い。	今後も効果的な広報活動についての検討をし、実行していく。	
	48	地域に対する広報活動の充実に取り組んでいるか。	3.10	3.13	3.12	3.22			
	49	生徒の個人情報保護について、適切に行っているか。	3.20	3.35	3.20	3.31			
		外部との連携に関する 学校関係者評価	自己評価の適切さ (数値評価 3.53)						改善方策の適切さ(数値評価3.53)
		①外部へのP R活動は大切であり、学校に対する認知度や興味・関心の高さにおごれることなく、今後も適切な情報提供を求めたい。 ②中学校への説明の内容をより充実させ、大学の推薦枠やより詳しい進路状況等の説明があると入学希望者の増加につながるのではないか。 ③他校との違い・滝らしさや特色をより強調した情報発信を求めたい。							